



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 パーカーコーポレーション
 コード番号 9845 URL <http://www.parkercorp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 善和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 山崎 敏男

TEL 03-5644-0600

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	11,362	37.8	760	208.6	759	89.5	403	65.5
26年3月期第1四半期	8,248	15.0	246	△3.5	400	28.6	243	63.5

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 210百万円 (△81.9%) 26年3月期第1四半期 1,162百万円 (116.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	15.58	—
26年3月期第1四半期	9.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	42,326	20,171	42.1
26年3月期	42,520	20,210	41.6

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 17,838百万円 26年3月期 17,699百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.50	—	3.00	5.50
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,300	27.3	1,220	69.6	1,250	32.0	770	35.5	29.72
通期	43,600	10.2	2,250	18.7	2,300	△1.9	1,450	△12.0	55.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	26,801,452 株	26年3月期	26,801,452 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	894,317 株	26年3月期	893,788 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	25,907,267 株	26年3月期1Q	25,913,721 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるグローバル経済は、米国では雇用情勢や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調となりましたが、欧州では低成長とユーロ高によりデフレ懸念が生じました。また、アジア主要国では特に中国における成長鈍化傾向やタイの政情不安等がありましたが、世界経済は総じて堅調に推移いたしました。

わが国の経済につきましては、消費税率の引上げや資源価格の高騰等の影響もありましたが、金融緩和策や経済対策により景況感は緩やかに改善しました。

このような経済情勢の下、当社グループではマーケティング力の強化、生産体制の効率化推進、適地生産体制の更なる強化によりグローバル市場への販売強化を行ってまいりました。

その結果、当社グループの第1四半期の連結業績は、売上高は11,362百万円（前年同期比37.8%増）、営業利益は760百万円（前年同期比208.6%増）、経常利益は759百万円（前年同期比89.5%増）となり、四半期純利益は403百万円（前年同期比65.5%増）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

・機械部門

自動車業界向け製造装置及び食品業界向け設備物件の受注が前年同期より減少しました。

当部門の売上高は、423百万円（前年同期比19.8%減）、営業損失は93百万円（前年同期の営業損失は26百万円）となりました。

・化成品部門

国内及び中国市場における自動車業界向け製造販売は、前年12月に子会社化したアサヒゴム株式会社の製造販売が加わり、堅調に推移しました。

当部門の売上高は、3,594百万円（前年同期比107.6%増）、営業利益は427百万円（前年同期比191.4%増）となりました。

・化学品部門

国内及びアジア地域での一般工業用及び特殊ケミカルの製造販売は堅調に推移しましたが、前年同期の洗浄設備に相当する大型物件の受注はありませんでした。

当部門の売上高は、1,296百万円（前年同期比4.3%減）、営業利益は6百万円（前年同期比79.2%減）となりました。

・産業用素材部門

国内、アジア市場共に自動車用及び家電用防音材の製造販売は好調に推移しました。加えて、アサヒゴム株式会社の子会社化による同社の自動車用防音材及び生活資材の販売が加わりました。

当部門の売上高は、4,633百万円（前年同期比49.2%増）、営業利益は409百万円（前年同期比564.8%増）となりました。

・化工品部門

東南アジアでのファインケミカルの製造販売は好調に推移しましたが、国内におけるカーケア関連ケミカルは、消費税率上げの影響もあり低調に推移しました。また、前年同期の塗装設備に相当する大型物件の受注がありませんでした。

当部門の売上高は、826百万円（前年同期比18.9%減）、営業利益は2百万円（前年同期比90.1%減）となりました。

・その他部門

中国及びロシアとの貿易におけるケミカル品等の販売が堅調に推移しました。

当部門の売上高は、588百万円（前年同期比15.5%増）、営業利益は8百万円（前年同期比23.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ194百万円減少し、42,326百万円となりました。主な要因は、商品等の在庫の増加（175百万円）、前渡金の支払等によるその他流動資産の増加（347百万円）がありましたが、前連結会計年度末の大型設備物件の入金等による受取手形及び売掛金の減少（767百万円）によるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ154百万円減少し、22,154百万円となりました。主な要因は、前受金の受取等によるその他流動負債の増加（157百万円）がありましたが、賞与引当金の減少（249百万円）によるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ39百万円減少し、20,171百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（293百万円）がありましたが、その他有価証券評価差額金の減少（48百万円）、為替換算調整勘定の減少（105百万円）及び少数株主持分の減少（178百万円）によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、前回公表の計画（平成26年5月13日付決算短信）に修正はありません。また、今後におきましても、経済環境や市場動向を注視し、業績予想の適切な開示に努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が50,837千円増加し、利益剰余金が32,719千円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微となっております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,628,820	5,821,320
受取手形及び売掛金	12,060,553	11,293,308
商品及び製品	2,966,481	3,182,787
仕掛品	427,978	481,388
原材料及び貯蔵品	1,346,851	1,252,458
繰延税金資産	306,792	312,881
その他	924,015	1,271,289
貸倒引当金	△7,478	△8,113
流動資産合計	23,654,014	23,607,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,542,221	7,281,541
減価償却累計額	△4,337,485	△4,345,694
建物及び構築物(純額)	3,204,735	2,935,846
機械装置及び運搬具	6,631,029	6,616,582
減価償却累計額	△4,712,960	△4,707,317
機械装置及び運搬具(純額)	1,918,069	1,909,265
土地	6,061,150	6,054,016
リース資産	589,109	570,873
減価償却累計額	△295,226	△314,506
リース資産(純額)	293,882	256,366
建設仮勘定	237,446	508,122
その他	3,828,501	3,852,770
減価償却累計額	△3,230,258	△3,248,169
その他(純額)	598,243	604,600
有形固定資産合計	12,313,527	12,268,219
無形固定資産		
借地権	609,829	512,763
リース資産	5,554	4,703
のれん	1,373	1,259
その他	141,917	157,087
無形固定資産合計	758,675	675,814
投資その他の資産		
投資有価証券	4,819,940	4,763,375
長期貸付金	61,631	61,000
繰延税金資産	23,501	22,637
その他	1,078,723	1,116,985
貸倒引当金	△189,422	△188,914
投資その他の資産合計	5,794,374	5,775,083
固定資産合計	18,866,578	18,719,117
資産合計	42,520,592	42,326,438

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年 6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,621,880	7,600,247
短期借入金	4,819,383	4,820,107
1年内返済予定の長期借入金	350,000	389,332
リース債務	164,291	136,537
未払法人税等	434,741	422,348
賞与引当金	518,086	268,249
その他	1,430,658	1,587,798
流動負債合計	15,339,042	15,224,622
固定負債		
長期借入金	4,038,248	3,988,835
リース債務	155,050	137,887
繰延税金負債	759,275	719,401
役員退職慰労引当金	209,816	217,079
退職給付に係る負債	1,667,766	1,725,398
資産除去債務	14,946	14,830
その他	125,495	126,768
固定負債合計	6,970,600	6,930,201
負債合計	22,309,642	22,154,823
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,201,205	2,201,205
資本剰余金	2,277,399	2,277,399
利益剰余金	10,502,667	10,795,900
自己株式	△204,056	△204,272
株主資本合計	14,777,215	15,070,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,350,694	2,302,581
繰延ヘッジ損益	5	△2,359
為替換算調整勘定	600,881	495,837
退職給付に係る調整累計額	△29,189	△27,760
その他の包括利益累計額合計	2,922,393	2,768,300
少数株主持分	2,511,341	2,333,082
純資産合計	20,210,950	20,171,614
負債純資産合計	42,520,592	42,326,438

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	8,248,200	11,362,737
売上原価	6,341,186	8,486,954
売上総利益	1,907,014	2,875,783
販売費及び一般管理費	1,660,494	2,114,924
営業利益	246,520	760,858
営業外収益		
受取利息	7,473	6,322
受取配当金	22,158	22,844
負ののれん償却額	4,009	-
持分法による投資利益	37,957	14,773
為替差益	89,692	-
その他	17,473	30,114
営業外収益合計	178,763	74,054
営業外費用		
支払利息	15,136	25,143
為替差損	-	41,145
その他	9,490	9,580
営業外費用合計	24,627	75,869
経常利益	400,656	759,043
特別利益		
固定資産売却益	-	1,784
関係会社出資金売却益	-	934
保険差益	-	24,790
特別利益合計	-	27,509
特別損失		
固定資産除却損	-	2,059
減損損失	-	1,442
特別損失合計	-	3,501
税金等調整前四半期純利益	400,656	783,051
法人税、住民税及び事業税	108,694	250,334
法人税等調整額	2,387	△2,631
法人税等合計	111,081	247,702
少数株主損益調整前四半期純利益	289,574	535,348
少数株主利益	45,729	131,673
四半期純利益	243,845	403,674

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	289,574	535,348
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	236,337	△31,317
繰延ヘッジ損益	△2,500	△2,365
為替換算調整勘定	545,901	△273,532
退職給付に係る調整額	-	1,431
持分法適用会社に対する持分相当額	93,331	△19,498
その他の包括利益合計	873,069	△325,282
四半期包括利益	1,162,644	210,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	941,098	249,581
少数株主に係る四半期包括利益	221,545	△39,514

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	528,411	1,731,332	1,354,427	3,104,737	1,019,771	7,738,680	509,520	8,248,200	—	8,248,200
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,448	40,396	10,662	18,858	88	72,454	28,182	100,637	△100,637	—
計	530,859	1,771,729	1,365,089	3,123,596	1,019,860	7,811,134	537,702	8,348,837	△100,637	8,248,200
セグメント利益又は 損失(△)	△26,595	146,626	29,100	61,605	28,958	239,696	6,823	246,520	—	246,520

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸・介護機器を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	423,551	3,594,075	1,296,149	4,633,632	826,601	10,774,010	588,727	11,362,737	—	11,362,737
セグメント間の 内部売上高又は振替高	10,405	237,557	17,594	93,803	115	359,476	30,537	390,013	△390,013	—
計	433,957	3,831,633	1,313,744	4,727,435	826,716	11,133,487	619,264	11,752,751	△390,013	11,362,737
セグメント利益又は 損失(△)	△93,315	427,264	6,058	409,561	2,855	752,423	8,435	760,858	—	760,858

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。